

土木現場見学会を終えて

富山県立桜井高等学校
土木科 2 年 木下 健矢

今回の吉原副離岸堤工事現場見学では、初めて聞く情報が多く、とても勉強になりました。

まず、移動のバスの中で聞いたお話の中で、生地の海岸が浸食されているという話がありました。生地は黒部市にあり、海沿いに住んでいる人たちは少しの津波でなどで命が危ないかもしれないと聞いて、浸食を少しでも止めないといけないと思いました。

入善の吉原では、特に波による被害を受ける可能性が高く、離岸堤、副離岸堤を整備してたくさんのものを守っていることを知りました。離岸堤間の距離や離岸堤と副離岸堤間の距離など全てが計算されていて、また、被覆ブロックの形、質量なども考えてあり、このような仕事は責任が重く、大変だと思いました。

しかし、この離岸堤を製造して、設置している飯作組の方々は、人の命や財産、日本の国土を守るためだと言っておられ、誇りをもって仕事をしておられるんだと思いました。また、この離岸堤の設置工事には、飯作組の方々の他に離岸堤の被覆ブロックを据えつけるために、潜水専門を取り扱っている会社とも協力してこの工事を進めていると聞き、日本中の人達がこの工事に関わっているのだと思いました。日本のために働いている人達に感動したので、自分も将来の就職先は、どのような形でも日本の力になれるような職に就きたいと思いました。

これからが就職や進学の大事な時期になってくると思うので、しっかり勉強や部活動に取り組んでいきたいと思いました。